

## ビクトーザ皮下注 18mg

## 【この薬は？】

販売名	ビクトーザ皮下注 18mg Victoza Subcutaneous Injection 18mg
一般名	リラグルチド（遺伝子組換え） Liraglutide(Genetical Recombination)
含有量 1筒(3mL中)	18.0mg

## 患者向医薬品ガイドについて

**患者向医薬品ガイド**は、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

## 【この薬の効果は？】

- ・この薬は、ヒトグルカゴン様ペプチド-1（GLP-1）アナログ注射液と呼ばれる注射薬です。
- ・この薬は主に膵臓（すいぞう）にはたらきかけ、血糖値が高くなると、インスリンの分泌を促して血糖値を下げます。
- ・次の病気の人に処方されます。

**2型糖尿病**

- ・この薬は、糖尿病治療の基本である食事療法、運動療法を十分に行ったうえで効果が不十分な場合に限り、医師の判断により処方されます。
- ・この薬は、医療機関において、適切な在宅自己注射教育を受けた患者さんまたは家族の方は、自己注射できます。自己判断で使用を中止したり、量を加減したりせず、医師の指示に従ってください。

## 【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・過去にビクトーザ皮下注 18mg に含まれる成分で過敏症を経験したことがある人
- ・糖尿病性ケトアシドーシスの人、糖尿病性の昏睡状態の人、1型糖尿病の人
- ・重い感染症にかかっている人、手術などの緊急の場合

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・過去に腹部の手術を受けたり、腸閉塞になったことのある人
- ・過去に膵炎（すいえん）にかかったことのある人
- ・糖尿病胃不全麻痺、炎症性腸疾患などの胃腸障害のある人
- ・次のような、低血糖を起こしやすい人
  - ・脳下垂体機能に異常のある人、副腎機能に異常のある人
  - ・栄養状態の悪い人、飢餓状態の人、食事が不規則な人、食事が十分に摂れていない人、衰弱している人
  - ・激しい筋肉運動をしている人
  - ・飲酒量が多い人
- ・妊娠または妊娠している可能性のある人
- ・授乳中の人

○この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

○この薬はインスリンの代わりにはなりません。

インスリン依存状態（インスリン注射をしなければならぬ状態）の患者さんには使われません。使用した場合には急激な高血糖（体がだるい、体重が減る、喉が渇く、水を多く飲む、尿量が増える）になったり糖尿病性ケトアシドーシス（吐き気、甘酸っぱいにおいの息、深く大きい呼吸）になったりすることがあります。インスリンを使用している患者さんが、インスリンからこの薬に切り替える場合は、インスリン依存の程度の確認が行われます。

## 【この薬の使い方は？】

この薬は注射薬です。

### ●使用量および回数

使用量と回数は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人が使用する量および回数は、次のとおりです。

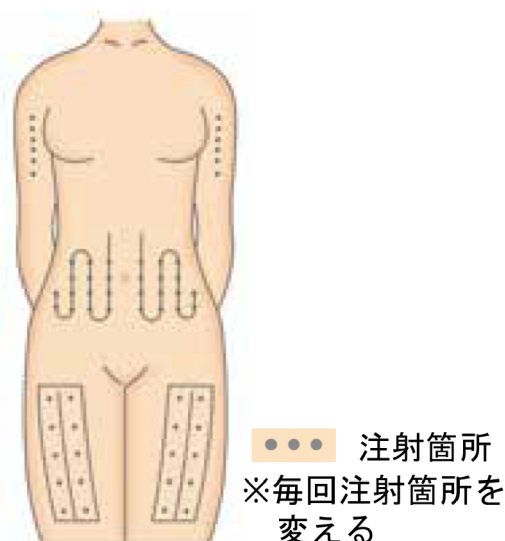
	開始量	維持用量
1回量	0.3mg	0.9mg
使用回数	1日1回 朝または夕	

胃腸障害（便秘、下痢、吐き気、嘔吐（おうと）など）があらわれるのを防ぐため、少量から投与を開始され、1週間以上の間隔で0.3mgずつ増量されます。なお、状態に応じて投与量を増減されますが、1日量として0.9mgで効果不十分な場合には、1週間以上の間隔で0.3mgずつ最高1.8mgまで増量されます。可能な限り同じ時刻に注射してください。

### ●どのように使用するか？

- ・皮下注射します。静脈内および筋肉内に注射しないでください。
- ・必ずお薬に添付されている取扱説明書を読んでください。
- ・皮下注射は、腹部、大腿（だいたい）、上腕に行います。注射箇所は毎回変更し、前回の注射箇所より少なくとも2～3 cm離して注射してください。

注射部位の図



- ・注射針は必ず規格（JIS T 3226-2 に準拠した A 型専用）に適合したものを使用してください。  
（くわしくは、医師もしくは薬剤師の指示に従ってください。）
- ・この薬に注射針を装着した時に液漏れなどの不具合が認められた場合には、新しい注射針に取り替えてください。
- ・一本のピクトーザ皮下注 18mg を他の人と共有しないでください。
- ・この薬は他の薬との混合により、成分が分解するおそれがあるため、他の薬と混合しないでください。
- ・注射後、注射針を廃棄してください。注射針は毎回新しいものを、必ず注射直前に取り付けてください。
- ・カートリッジにひびが入っている場合には、使用しないでください。
- ・カートリッジの内壁に付着物がみられたり、液中に塊や薄片がみられたり、また、使用中に液が変色しているような場合には、使用しないでください。

### ●使用し忘れた場合の対応

- ・決して2回分を一度に使用しないでください。
- ・使用し忘れた場合は、医師に相談してください。

### ●多く使用した時（過量使用時）の対応

- ・異常を感じたら、医師または薬剤師に相談してください。

## 【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬を使用するにあたっては、注射法や低血糖症状への対処法、使用済みの製剤や針の安全な廃棄方法などについて患者さんまたは家族の方は十分に理解できるまで説明を受けてください。
- ・低血糖症状があらわれることがあります。低血糖症状があらわれた場合は、通常は糖質を含む食品をとってください。α-グルコシダーゼ阻害剤（アカルボース、ボグリボース、ミグリトール）を併用している場合は、ブドウ糖をとってください。低血糖症状の一つとして意識消失を起こす可能性もありますので、必ずご家族やまわりの方にも知らせてください。
- ・高所での作業や自動車の運転など、危険を伴う作業に従事しているときに低血糖をおこすと事故につながりますので、特に注意してください。
- ・この薬を注射する場合には、定期的に血糖、尿糖の検査が行われます。この薬を3～4ヵ月間投与して十分な効果が得られない場合は、他の治療薬へ変更されることがあります。
- ・急性膵炎（きゅうせいすいえん）（初期症状として、嘔吐を伴うお腹の激しい痛みなど）があらわれることがあります。このような症状があらわれた場合は、使用を中止し速やかに医師の診断を受けてください。
- ・この薬を注射中に、甲状腺関連の症状（くびに触れると硬いしこりがあるなど）があらわれた場合には、この薬を処方した医師に相談し、専門医への受診について指示を受けてください。
- ・胆石症、胆嚢炎（たんのうえん）、胆管炎または胆汁うっ滞性黄疸（たんじゅううったいせいおうだん）があらわれることがあります。腹痛などの腹部症状がみられた場合には、必要に応じて画像検査などによる原因の精査が行われることがあります。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は、この薬を使用せず、インスリンを使用するため、医師に相談してください。
- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

## 副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。


重大な副作用	主な自覚症状
低血糖 ていけつとう	お腹がすく、冷汗が出る、血の気が引く、疲れやすい、手足のふるえ、けいれん、意識の低下
膵炎 すいえん	強い腹痛、背中の痛み、お腹が張る、吐き気、嘔吐、体重が減る、喉が渇く、尿量が増える、皮膚が黄色くなる、油っぽい下痢が出る
腸閉塞 ちようへいそく	便やおならが出にくい、吐き気、嘔吐、お腹が張る、腹痛

胆嚢炎 たんのうえん	発熱、寒気、白目が黄色くなる、右上腹部の痛み、上腹部が張った感じ、嘔吐
胆管炎 たんかんえん	発熱、白目が黄色くなる、右上腹部の痛み、皮膚が黄色くなる
胆汁うっ滞性黄疸 たんじゅううったいせいおうだん	白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる、体がかゆくなる

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	冷汗が出る、疲れやすい、けいれん、体重が減る、発熱、寒気、体がかゆくなる
頭部	意識の低下
顔面	血の気が引く
眼	白目が黄色くなる
口や喉	吐き気、嘔吐、喉が渇く
腹部	お腹がすく、強い腹痛、お腹が張る、腹痛、右上腹部の痛み、上腹部が張った感じ
背中	背中での痛み
手・足	手足のふるえ
皮膚	皮膚が黄色くなる
便	油っぽい下痢が出る、便やおならが出にくい
尿	尿量が増える、尿の色が濃くなる

## 【この薬の形は？】

性状	無色澄明の液
内容量	1筒 3mL
容器の形状	ビクターザ皮下注 18mg 

## 【この薬に含まれているのは？】

有効成分	リラグルチド（遺伝子組換え）
添加剤	リン酸水素二ナトリウム二水和物、フェノール、プロピレングリコール、塩酸、水酸化ナトリウム

## 【その他】

### ●この薬の保管方法は？

- ・使用開始前は、凍結を避けて冷蔵庫など（2～8℃）で保管してください。

光を避けてください。

- ・使用開始後は冷蔵庫に保管せず、キャップなどにより光を避けて室温（30℃以下）で保管し、30日以内に使用してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●**薬が残ってしまったら？**

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

●**廃棄方法は？**

- ・使用済みの針、ビクトーザ皮下注 18mg については、医療機関の指示どおりに廃棄してください。

**【この薬についてのお問い合わせ先は？】**

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：ノボ ノルディスク ファーマ株式会社

(<http://www.novonordisk.co.jp>)

ノボケア相談室

電話：0120-180363